

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

令和6年 4月3日

NPO 法人
恵庭市市民活動センター運営協議会
理事長 様

団体名 えこにわ

代表者名 勝又 みさ都

住所
電話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	‘えにわブルーサンタごみ拾い’を通じたゼロカーボンアクションの普及啓発		
協働事業費の総額	16万円	補助金交付申請額	10万円
事業実施団体数	①単独・複数（団体数）	本事業での提案回数	1回目
協働する担当課	生活環境部 ゼロカーボン推進室 廃棄物管理課 担当者：谷村氏（内線 1145）		
提案事業の内容	<p>実施期間 2024年4月1日から・2025年2月末日まで</p> <p>きれいなまちづくり条例が2003年に制定された恵庭市。通勤途中などにごみ拾いをする市民がいる一方で、子どもと歩いて目にするのが、横断歩道の隅にタバコの吸い殻、街路樹の茂みに捨てられたプラ容器。私たちが日々使い捨てる物には無数の作り手の存在があり、捨てられたごみが恵庭の4つの川から海に行き着く先にも生き物の命があります。小さな命を大切にすまちなってほしいと願い、まちづくりチャレンジ協働事業に応募いたします。</p> <p>‘えにわブルーサンタごみ拾い’は、青いサンタがごみを拾い、虹のかかるきれいな海を未来の子ども達にプレゼントする取り組みで、海と日本 PROJECT（日本財団他）のポータルサイト‘BLUESHIP’に登録し、子育て中の恵庭市民を中心に2020年より活動しています。</p> <p>気候変動やごみ問題が及ぼす影響を「仕方ない」とあきらめず、一人一人の小さな行動の変化を促すため、ごみ拾い活動に楽しいしかけや工夫をし、市民の力でゼロカーボンシティの実現に向かう契機としたいです。</p> <p>〈工夫・独創性〉</p> <ul style="list-style-type: none">・他団体と合同ごみ拾いを行い、交流を促し、関心のない人も気づいたら学んでいた、やってみたら楽しかった、の機会を生み出す（例）恵庭市ボランティア、えにわプレーパーク、がん啓発イベント虹いろ、恵庭市地域活動支援センター、市民団体チトセコ（千歳市）・ホームページを中心に啓発を行い、チラシ配布を止め、ポスターなど多数の人が触れる方法に限定することで、紙資源を守りごみを減らす・参加者にごみ拾い後のSNS投稿を促し、ホームページに掲載する		



- ・参加者に恵庭市公式 LINE の登録とボランティア袋の回収依頼、えにわかアプリの登録とえにボ取得を促す
- ・ビンゴ、MVP 表彰、クイズ、紙芝居、ごみ拾い体操など、楽しく学べるしかけを取り入れる
- ・参加者の特技や関心を、ごみ拾いを通じて実現できる場をつくる
(例) ウクレレやピアノ演奏で「にじ」を歌う 紙芝居の絵を描く
- ・関連イベント「お洋服交換会」「海洋プラ博士を招いた学習会」「SNS 版ゆずりあい」「お直し手芸部」などの参加を促し、自主的に行動できる人を育成する

〈目標値〉

- ・ごみ拾い活動：4～12月に6回以上 参加各 10～15人
各回でごみ分別クイズの実施
- ・親子ワークショップ、施設見学会：各1回 参加費無料 参加各 15人
‘リサイコロ’の実施

〈年間スケジュール〉

(1) 市内

- 4月～ ホームページ初期画面、のぼり制作
- 5月30日(木) 15-17時 ごみゼロの日 クリーンウォーキング
恵庭市ボランティア、地域活動支援センター合同ごみ拾い
会場：恵庭市役所・はなふる・島松公民館・テクノパーク
- 6月22日(土) えにわプレーパーク合同ごみ拾い
会場：恵庭ふるさと公園
内容：ごみ拾いの後はプレーパークで遊んで、ウクレレの音色に合わせて
手話で「にじ」を歌おう！（ごみ拾い体操の体験）
- 7月 ACTION! 海の日! ブルーサンタごみ拾い(1回)
内容：未定(昨年は花とくらし展会場)
- 8月 夏休み親子ワークショップ
会場：未定(えにあす)
内容：恵庭のごみ問題について‘リサイコロ’で学び、海の生き物を描いて、
ペープサートを作ってみんなで動かしてみよう！
- 9～10月 WCD(ワールドクリーンナップデー)(1回)
・生活クラブ恵庭支部サークル‘ごみひろE’合同ごみ拾い
・平/祝日 ごみ処理場、リサイクルセンター、生ごみ・し尿処理場、焼却
施設の見学会 拾ったごみの行方を、この目で見てみよう！
- 10月平日 がん啓発イベント虹いろ ピンクリボン合同ごみ拾い
会場：恵庭市役所一えにあす
- 11～12月 年末クリーンナップ月間 チトセコ同日ごみ拾い(1回)
内容：未定
- 1～2月 活動の動画編集・ホームページへの掲載

(2) 市外(事業の対象外)

- 4/21日 14-16時 北海道ごみ拾いアクション・学習会(青いチキウまもり隊(室蘭))
会場：札幌市大通公園(学習会はワーカーズコープ北海道事業本部 Web 併用)
主催：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 北海道事業本部
- 5/15水 10-11時 Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦! ごみ拾い
会場：支笏湖モラップキャンプ場 一般参加

<p>提案事業の目的及び期待される効果</p>	<p>昨今、学校が短縮授業になり身近な動植物の命に関わるほどの猛暑や、1月に雨が降りスケート授業ができない暖冬、新雪にもマイクロプラが見つかった報道をはじめ、気候変動やごみ問題の生活への影響を肌身で感じています。</p> <p>「何から始めたらいいの?」「忙しいから仕方がない」と日々に追われ、無関心になってしまう多くの市民が踏み出す1歩目として、多世代が楽しめるごみ拾い、親子ワークショップ、ごみ関連施設の見学会を実施します。ごみを拾う行為をきっかけに一人一人の意識を高め、自主的に課題解決に向かう市民の輪を広げていきます。</p>
<p>提案事業の役割分担</p>	<p>申請団体が担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の企画、周知、準備、運営 ・他団体との調整 ・公式アプリ「えにわか」えにボ付与による市民への動機付け <hr/> <p>担当課が担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵庭市ホームページ、広報、公式LINE、Instagramを活用した市民への周知 ・ごみ拾い開催日にごみ分別クイズの実施 ・夏休み親子ワークショップで「リサイコロ」の実施 ・ごみ処理場、リサイクルセンター、生ごみ・し尿処理場、焼却施設見学の調整 <hr/> <p>連携団体が担う役割</p> <p>なし</p>
<p>添付書類</p>	<p>(1) 団体概要調書(様式第2号)</p> <p>(2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書(様式第3号)</p> <p>(3) 規約、会則又は定款及び役員名簿等の写し</p> <p>(4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書</p>

団体概要調書

団体名	(ふりがな) えこにわ		
	えこにわ		
代表者氏名	(ふりがな) かつまた みさと		
	勝又 みさ都		
事務所の所在地	[REDACTED]		
	電話	[REDACTED]	FAX なし
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方		
	氏名	(ふりがな) あずま えみ	電話 [REDACTED]
		東 絵美	FAX なし
設立年月日	2020年9月4日	会員数	4名
メールアドレス	[REDACTED]		
団体ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・単独のホームページはなし（本事業を活用し周知ページを作成希望） ・YouTubeチャンネルでの活動紹介： https://youtu.be/Xm9zvOKS2Bc?si=aQFGQGxvPaxDN3MF ・ごみ拾いポータルサイト BLUESHIP での団体ページ： https://blueshipjapan.com/crew/chikyuwomamoroueniwa/ ・旧団体「地球を守ろう！in 恵庭」の Facebook ページ： https://www.facebook.com/chikyuwomamorou.eniwa/ （環境活動家・谷口たかひさ氏を応援する意図を含んだ各地の団体の一つ。そこから再構成し、2024年に「えこにわ」に変更しました） 		
団体の目的	<p>市民がつながり価値観を通わせることで多様な活動の芽が生まれ、市民の特性や関心を多角的に結集してゼロカーボンシティの実現に向かう。</p> <p>『えこにわ』の名前の由来： 「えにわ」と「エコ」がくっついたら（えびすカボチャの）芽が出た！ 『えにわブルーサンタごみ拾い』の活動コンセプト： 虹のかかるきれいな海を未来の子ども達に残したい。ブルーサンタと一緒にごみを拾って私たちにできることを考えていきましょう。</p>		

<p>主な活動内容及び実績</p>	<p>〈2020-2023年実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い：開催26回 参加208人 回収48袋 ・学習会：開催3回 参加約133人 ・ワークショップ：開催3回 参加42人 <p>〈詳細〉</p> <p>2020年：ごみ拾い2回（参加28人 3袋回収）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動家谷口たかひさお話し会（9月2回 参加約50+30人） ・ミツロウラップ作りワークショップ（参加4人） <p>2021年：ごみ拾い4回（参加50人 9袋回収）</p> <p>2022年：ごみ拾い9回（参加47人 18袋回収）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵庭市出前講座を利用したごみ処理施設見学会（8月 約15人） <p>2023年：ごみ拾い8回（参加68人 12袋回収）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月 花とくらし展で市職員・スタッフ・市民とのごみ拾い ・12月 えにわプレーパーク合同ごみ拾いで、恵庭市ボランティア2名が参加し、えにわかアプリ登録とえにわ取得の呼びかけ ・環境活動家谷口たかひさお話し会（3月 参加53名） ・キャンドルナイト キャンドル作りワークショップ（8月 参加20名） ・えにわ環境エネルギー展トークセッション（9月 参加32名） <p>2024年：お洋服交換会・ダーニングお直し手芸部（3月 参加18人）</p>
<p>市や国・道、他の団体から受けている補助金等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有 [補助金等の名称：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 北海道事業本部 一社) 日本社会連帯機構 北海道地方委員会] [金額 : 60,000円] (月5000×12ヶ月) ・無

※複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団体名	えこにわ
協働事業の名称	‘えにわブルーサンタごみ拾い’を通じた ゼロカーボンアクションの普及啓発

1. 収入

（単位：円）

項目	金額	説明（積算等）
補助金	100,000	まちづくりチャレンジ協働事業補助金
助成金	60,000	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 北海道事業本部（社）日本社会連帯機構 北海道地方 委員会助成金 ‘シャレンでできるもん’
合計	160,000	

2. 支出

（単位：円）

項目	金額	説明（積算等）
ホームページ初期画面の制作	55,000	信頼性が高く、広い周知が可能となるホームページを制作し、普及啓発の中心としたい。 ・ 恵庭在住の方に依頼 ・ 活用中のポータルサイト BLUESHIP は、団体紹介・告知・レポートが別ページで、検索されにくい ・ FB は世代が限定され、旧団体は4年で86フォロワーに止まっている ・ LINE 公式アカウントは月200～5000通で月5000円かかり、目標15名を集めるには月300通に近い発信を要するため難点がある。
サーバー契約料・管理料	30,800	・ Xサーバー契約料 年間13,200円 ・ ワードプレステーマ(SWELL)購入費17,600円 複数名に管理を依頼していくため、初心者でも扱いやすいワードプレステーマを購入したい。
撮影・動画編集・投稿	15,000	札幌在住のカメラマンに依頼 活動動画、画像、レポートをホームページに掲載
ワークショップ講師料	10,000	苫小牧在住のパステルアート・読み聞かせ講師

ワークショップ材料・会場費	5,000	
ごみ拾い体操 編曲振付け料	5,000	恵庭在住のキッズダンス講師
のぼり制作費	15,290	のぼり2枚、ポール、土台
のぼり・ポスターデザイン料	10,000	
保険料	5,000	ボランティア行事用保険
消耗品	8,910	材料費・景品・交通費（他団体補助金から支出）
合 計	160,000	税込

備考) 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）」とともに領収証の写しを添付する必要があります。